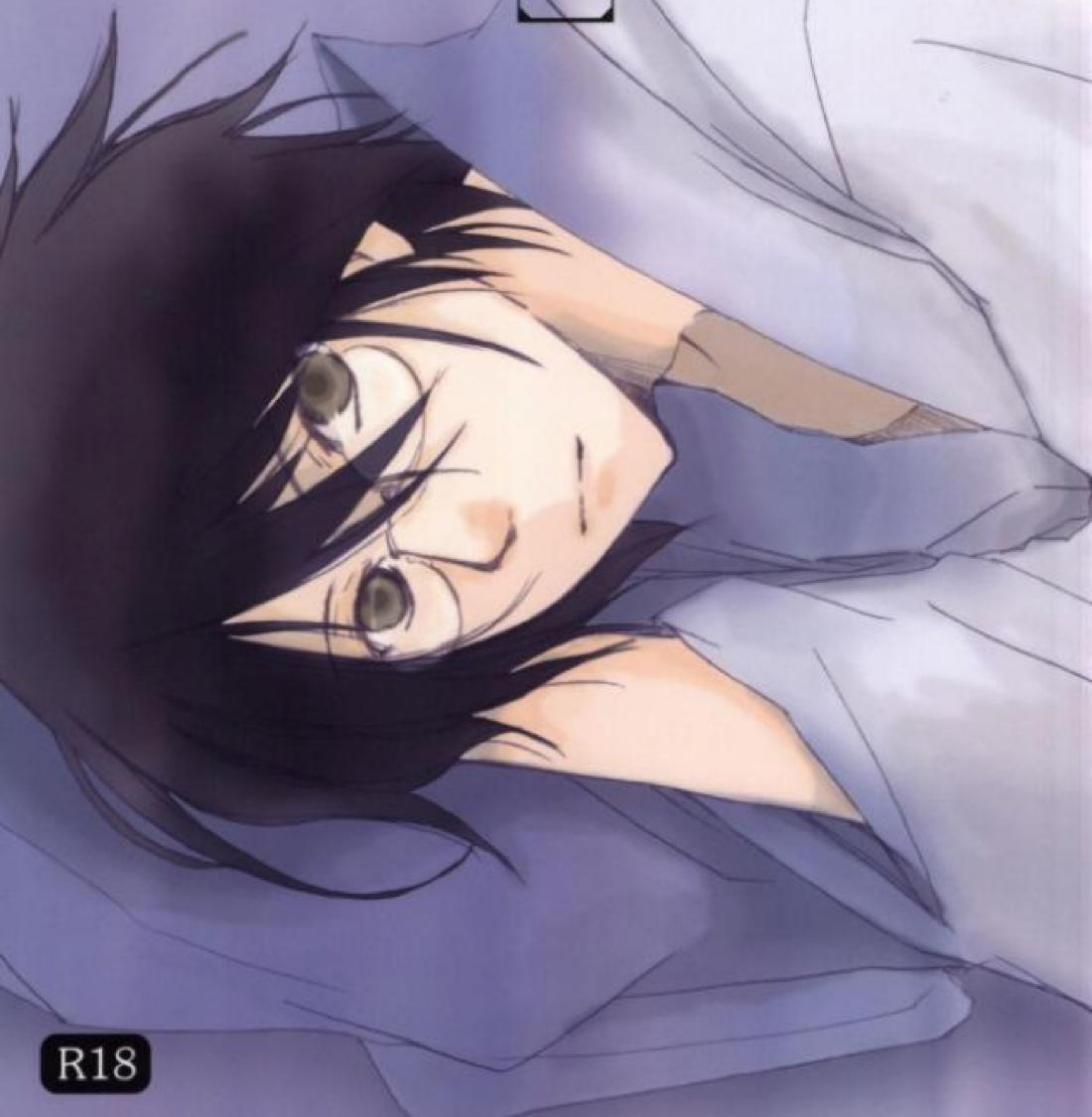


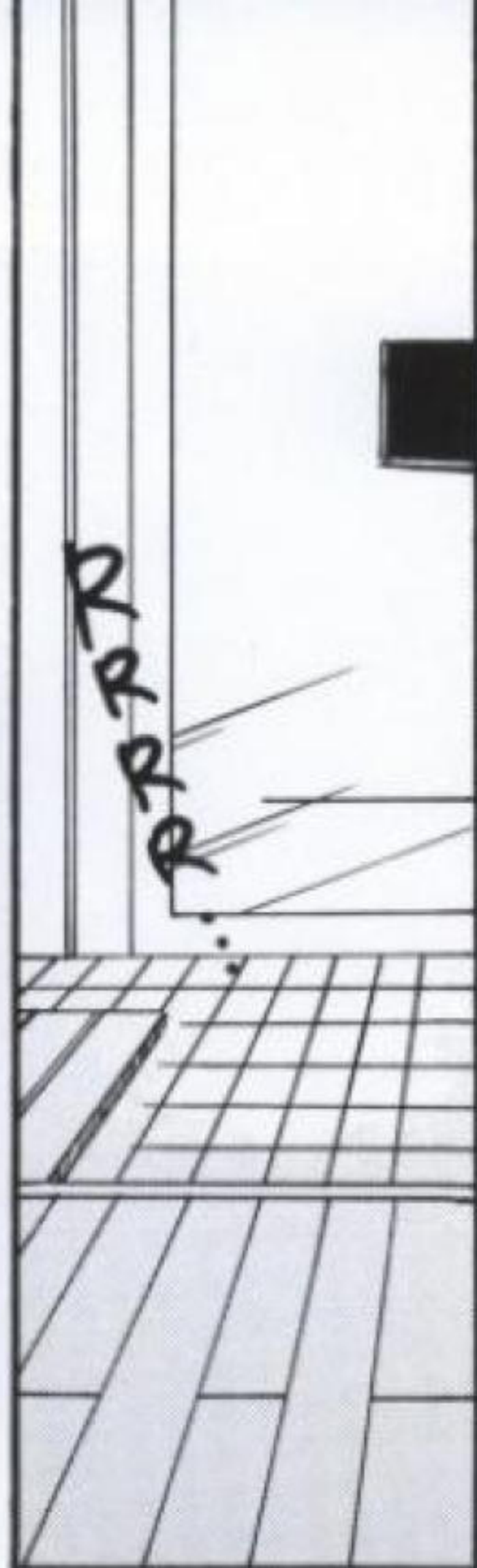
「涙の温度」



〔涙の温度〕

$\mathbb{R}, \mathbb{R}, \mathbb{R}, \mathbb{R}, \mathbb{R}, \dots$

日曜日に電話が鳴ると
大抵よい知らせでないことが多い



ドドド..
ヤ

はい
糸色医院です



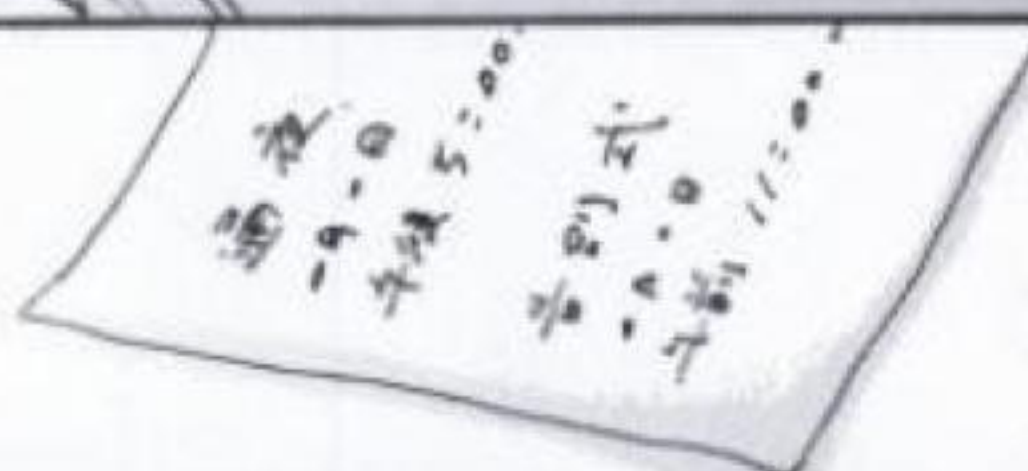
糸色医院





やはり

駄目
だったか…



うわ…

こういう時
素直に泣くことが
出来たなら



私も救われるのだろうか…

もう何年も涙を流していない

命

もうお兄さん
なのだから

泣いてばかり
では駄目
ですよ

ぐっ
ぐっ

最後に泣いたのは
いつだっただろう



ほら
望に
笑われますよ



笑われた

母の言葉は
幼い私の心に
深く突き刺さり

母にとっては
何気ないひと言のつもり
だったのかもしれないが

事あることに
思い起こさせた

泣いてはいけない
泣いてはいけない
泣いてはいけない



感情が溢れ出しそうに
なるのを必死で押さえ込む

最初は意識的に
次第に無意識のうちに
それが出来るように
なっていた

悲しくない
わけではない



蓋の開け方が分らなく
なってしまったただけだ

いつの間にか

感情に蓋をする術を

覚えた

ジュー ジュー

真夏に喪服…
暑そうだな

暑くてたまらないのに 体の芯がぼんやりと冷たい





家の冷房が
壊れたので

涼みに来たの
ですが…

冷房が故障して
しまつてね

ここも
暑いですね

業者が休みで
明日にならないと

修理に
来られない
らしい

これで我慢
しなさい

これも気休め
ですねー





ここで
開業して
以来

ずっと通って来て
くれていたんだ

出来れば
今まで通り

糸色君に
診てもらいたい
のだが…

移動先は
ここより設備の
整った病院です

先生も優秀な
先生ばかり
ですし

ご家族の
ご希望も
ありますから

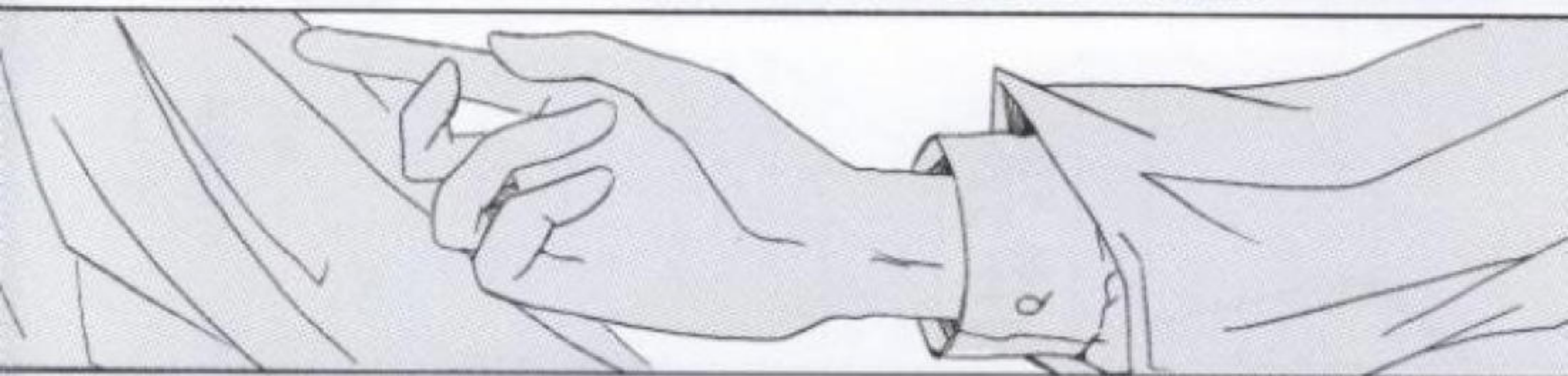
せめて笑顔で…

分かっていたんだ
もう助からないって
多分、先生も

散々世話になって
おきながら

ささやかな最後の
願いも叶えて
あげられなかった…

行きどころない気持ちが出口を求めて彷徨う



全部吐き出してしまいたいのに…



望

お前が
私の代わりに
泣いてくれないか

兄さん

なに言っ
て
いるんですか？

昔から

私の代わりに

お前が泣いて
いただらう…





おっ

兄さん

うん...

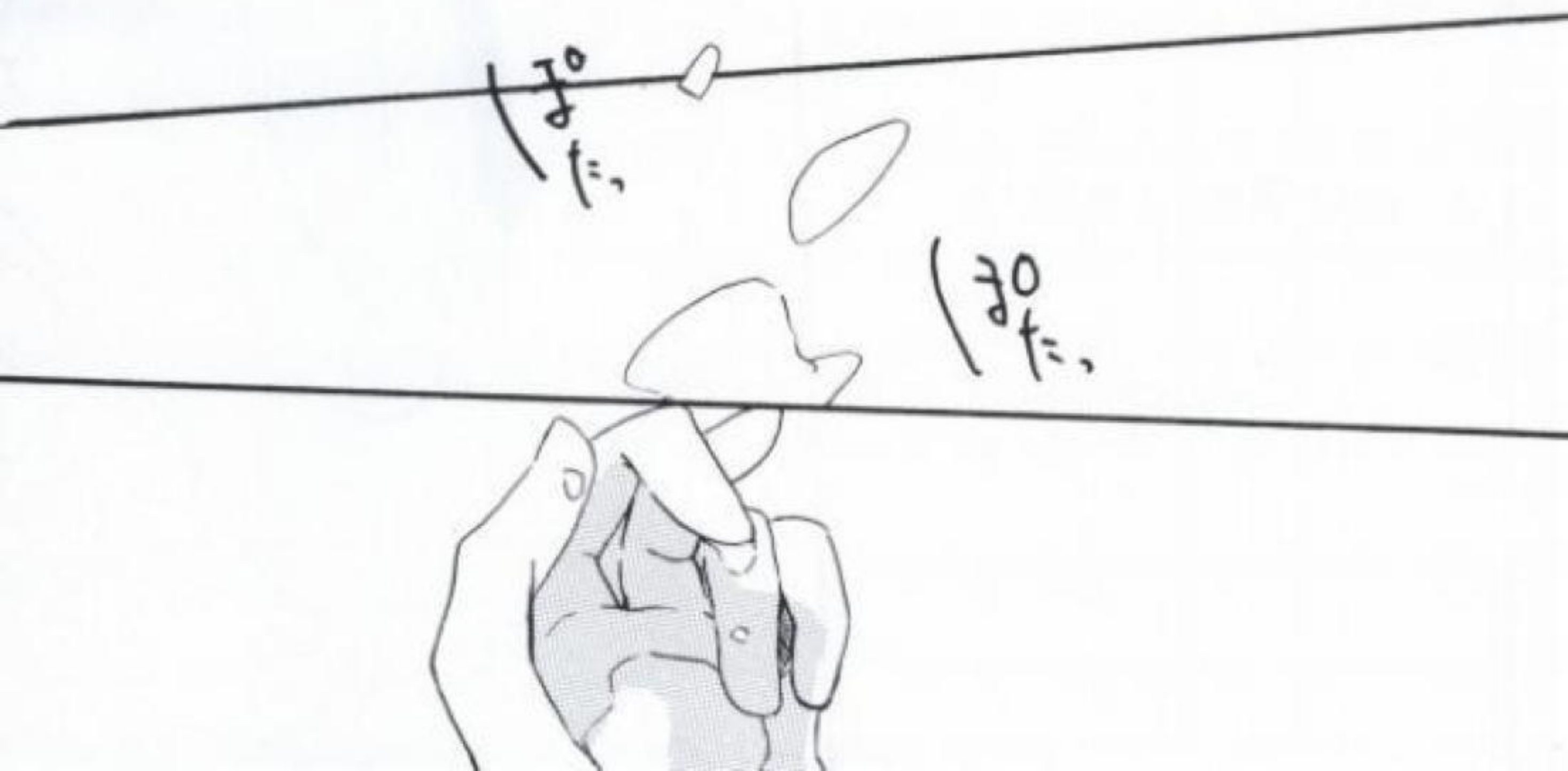
うん...

あ、

うん

おっ

ぎゃ





まだ
足りない?

ズッ
ズッ

い

暑くてたまらないのに
体の芯がぼんやりと冷たい

望 お前が温めてくれないか...

望

いれるよ





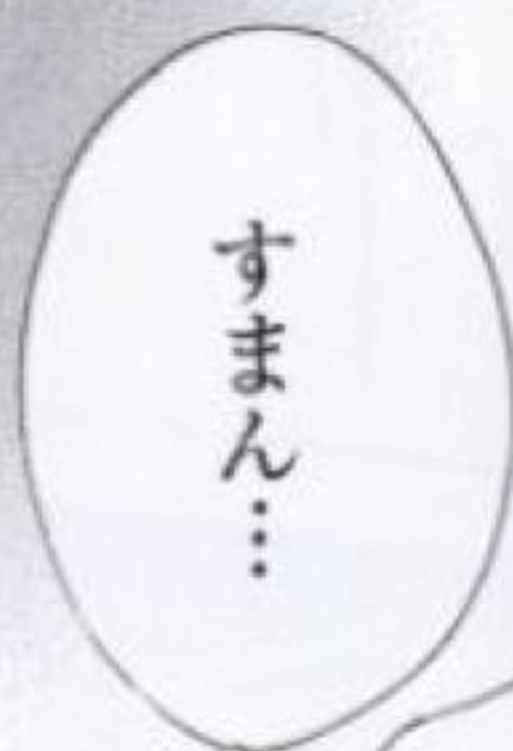


望

触れあった部分を伝って
ゆっくりと私の中に入り込み
馴染んでいく

久しぶりに涙の温度を
肌で感じた

まるで自分が泣いているような
気持ちになった



望



探したよ
どうしたんだ？

望



母上が男の子は
泣いたら駄目
だって…

めそっ

倫に
笑われる
って…



望は
泣いても
いいんだよ

泣きたい時に
泣けばいい

望が泣くと何故だか安心した この子は私と違う

違ってくれてよかった…





兄さんは
医者に向いて
ないんですよ

全部
背負い込んで
閉じ込めて

一人で
苦しんで

兄さんは
優しすぎる
んですよ

Temperature
of tears.

絶
叫
キ
ネ
マ
倶
楽
部